

2015年度 第2四半期 不二サッシグループ 決算説明資料

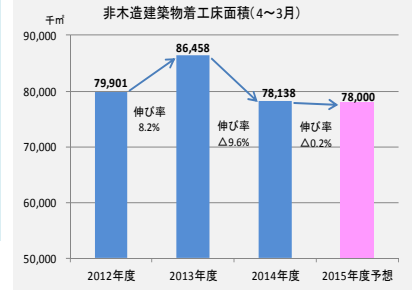
2015年11月5日
不二サッシ株式会社

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

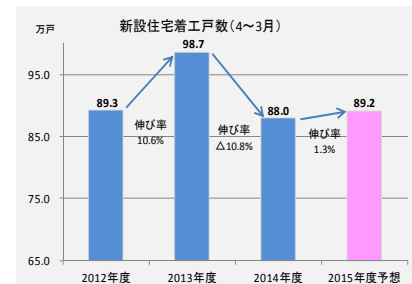
I. 2015年度 第2四半期決算の概要

2015年度における事業環境

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度予想
非木造建築物着工床面積（千㎡）	79,901	86,458	78,138	78,000
前年比（伸び率）	7.4%	8.2%	-9.6%	-0.2%
新設住宅着工戸数（戸）	893,002	987,254	880,470	892,000
前年比（伸び率）	8.2%	10.6%	-10.8%	1.3%



- 主にビルサッシ市場の指標となる非木造建築物着工床面積の直近の統計はほぼ横ばいで推移しており、東京オリンピック・パラリンピック等の潜在需要や大型開発物件が動き始めたものの、公共投資が前年割れの見込みとなるなど、先行きの不透明感は払拭できない状況にあり、期初予想のとおりで微減で推移するとみています。
- 2015年度の住宅着工戸数は、消費税増税以降の反動減に底打ち感があり、省エネ住宅エコポイント等の市場活性化策も下支えとなり、直近の統計でも持ち直しの動きが見られるため、期初の予想のとおりで微増で推移するとみています。



2015年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2014年度上期		2015年度上期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	
					増減額	%
売上高	43,680	100.0	42,041	100.0	△1,638	96.2
売上原価	36,572	83.7	35,675	84.9	△896	97.6
売上総利益	7,107	16.3	6,365	15.1	△741	89.6
販管費	5,828	13.3	6,024	14.3	196	103.4
営業利益	1,278	2.9	340	0.8	△937	26.7
経常利益	1,114	2.6	81	0.2	△1,033	7.3
親会社株主に帰属する当期純利益	817	1.9	△147	-0.4	△964	—

当第2四半期の当社グループの業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、建築市場は緩やかな持ち直し傾向にあるとはいえ、前年度からのアルミ地金の高値影響や労務費の上昇など厳しい状況となっています。

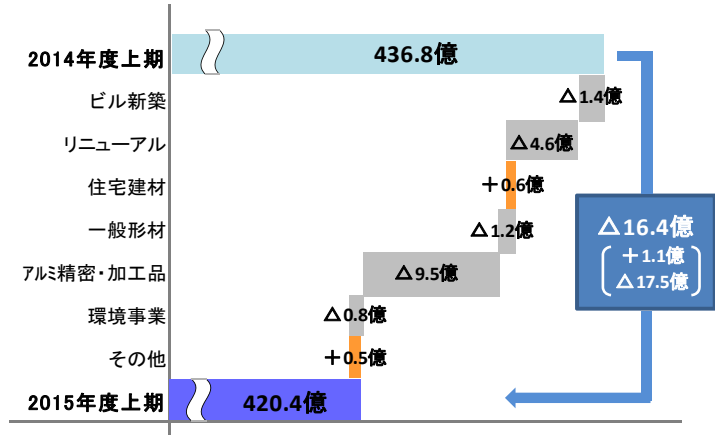
形材外販事業においては、市場環境の変化並びに競争激化により今後も厳しい状況が続くものと思われます。環境事業においては、前期からの順調な受注はあるものの、一部で工事遅延が発生し影響が出ています。

その結果、売上高420.4億円（前年同期比96.2%）、営業利益3.4億円（前年同期比9.3億円減）、経常利益0.8億円（前年同期比10.3億円減）、当期純損失1.4億円（前年同期は当期純利益8.1億円）と減収減益になりました。

セグメント別 売上高

【連結】	売上高 (百万円)		
	2014年度	2015年度	
	上期実績	上期実績	対前年比
建 材 事 業	29,387	28,849	98.2%
			△538
形材外販事業	11,581	10,512	90.8%
			△1,068
環 境 事 業	1,877	1,796	95.7%
			△80
その他事業	834	883	105.9%
			49
合 計	43,680	42,041	96.2%
			△1,638

■ 売上高増減分析(前年比)

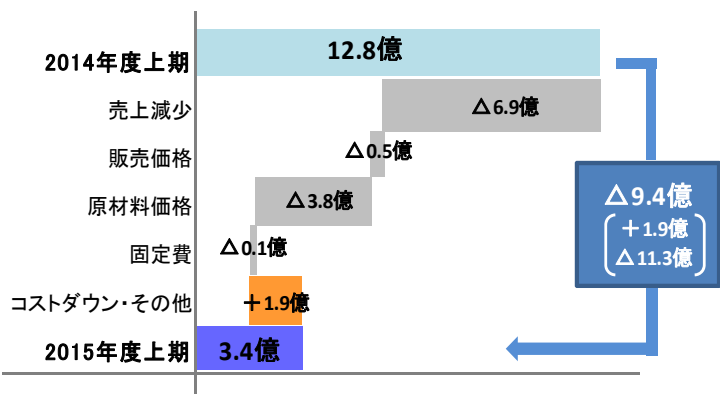


- ・主力の建材事業の売上高は、営業プロセスの徹底した効率化を推進しましたが、リニューアル事業の工事遅延等により、前年同期比98.2%、5億3千8百万円の減収となりました。
- ・形材外販事業の売上高は、市場環境の変化並びに競争激化により、前年同期比90.8%、10億6千8百万円の減収となりました。
- ・環境事業の売上高は、今年2月の雪害で一部大型プラント工事に遅延が発生し、売上が下期にずれたことから前年同期比95.7%、8千万円の減収となりました。

セグメント別 営業利益

【連結】	営業利益 (百万円)		
	2014年度	2015年度	
	上期実績	上期実績	対前年比
建 材 事 業	1,374	1,236	△138
形材外販事業	340	△223	△564
環 境 事 業	86	△89	△175
その他事業	86	49	△36
(消去又は全社)	(608)	(632)	(23)
合 計	1,278	340	△937

■ 営業利益増減分析(前年比)



- ・営業利益は、減少要因として売上減少で△6億9千万円、販売価格の低下で△5千万円、原材料価格の上昇で△3億8千万円、固定費増で△1千万円となり、合計で11億3千万円の減少となりました。
- ・増加要因としては、コストダウンなどで+1億9千万円の増益となりました。
- ・営業利益全体では、前年同期比26.7%、9億3千7百万円減の3億4千万円と減益となりました。

II. 2015年度(平成28年3月期)の業績予想

6

2015年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

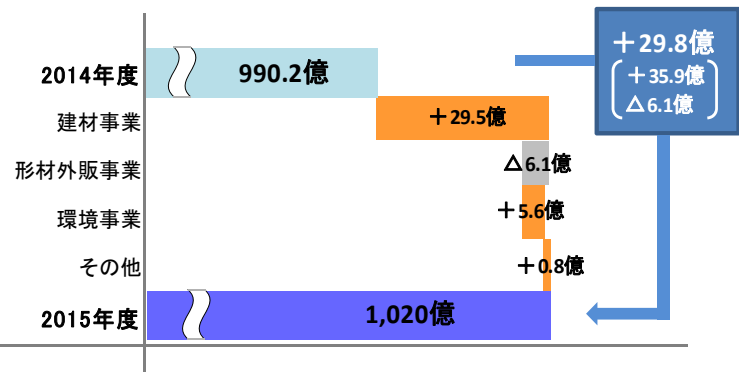
	2014年度通期		2015年度通期			
	実 績		公表・予想数字		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売 上 高	99,020	100.0	102,000	100.0	2,980	103.0
営業利益	3,018	3.0	2,900	2.8	△118	96.1
経常利益	2,643	2.7	2,600	2.5	△43	98.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,292	1.3	1,450	1.4	158	112.2

7

2015年度 連結通期業績予想 – 売上高

【連結】	売上高 (百万円)		
	売上高		
	2014年度 通期実績	2015年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	69,650	72,600	104.2% 2,950
形材外販事業	23,614	23,000	97.4% △614
環 境 事 業	4,038	4,600	113.9% 562
その他事業	1,718	1,800	104.8% 82
合 計	99,020	102,000	103.0% 2,980

■ 売上高予想増減分析(前年比)

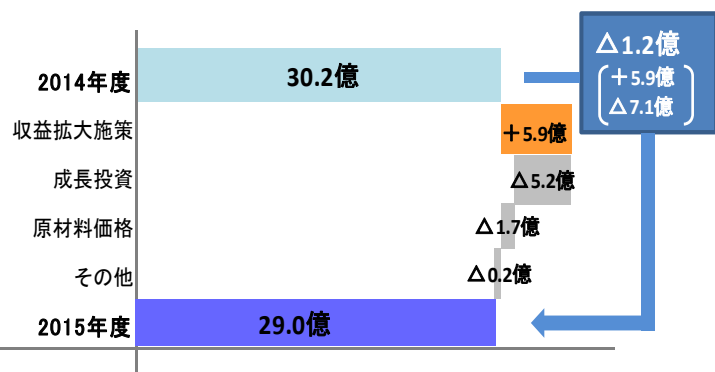


- ・建材事業は、公共事業など建設投資の前年割れが予想されるものの、ビル新築並びにリニューアル事業の堅調な受注状況などから、前年同期比104.2%、29億5千万円増を見込んでいます。
- ・形材外販事業は、年度後半から一般形材の回復を見込んでいますが、アルミ地金市況の変動の影響など懸念材料も考慮し、前年同期比97.4%、6億1千4百万円減と見込んでいます。
- ・環境事業は、受注状況などから、前年同期比113.9%、5億6千2百万円の増収を見込んでいます。

2015年度 連結通期業績予想 – 営業利益

【連結】	営業利益 (百万円)		
	営業利益		
	2014年度 通期実績	2015年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	3,654	3,700	46
形材外販事業	253	150	△103
環 境 事 業	165	150	△15
その他事業	140	100	△40
(消去又は全社)	(1,195)	(1,200)	(5)
合 計	3,018	2,900	△118

■ 営業利益予想増減分析(前年比)



営業利益は、中期経営計画『躍進』の収益拡大施策の推進ならびに利益確保の営業活動を継続していきませんが、成長投資、原材料価格の上昇などのコスト増により、前年同期比96.1%、1億1千8百万円減の29億円を見込んでいます。

Ⅲ. 2015年度 第2四半期 トピックス

10

折り畳み式ユニットハウスの接合部で業界初の技術評定を取得

2015年6月12日

不二サッシは、折り畳み式ユニットハウスの接合部を新たに開発し、一般財団法人ベターリビングから業界初となるフレーム接合部の技術評定を取得いたしました。今回取得した接合部は構造解析を重ね、柱と梁・柱と土台の接合部実験で確認を行い、一般財団法人ベターリビング鋼構造評定委員会の審査を経て「回転剛性並びに長期および短期許容耐力が妥当である」との技術評定を受けました。

■ 製品特長

- ・コンパクトなユニット化を実現
- ・安全・確実な組立構造
- ・用途に合わせて拡張・外装レイアウト選択可能
- ・工場生産による高品質



【折り畳み方式で4ユニット搭載】



【屋根を吊り上げ柱が開いていく状態】



【平屋建て2連棟/郊外型店舗のデザイン】



【2階建て10連棟/軽食・展示ショップのデザイン】

11



2015年度グッドデザイン賞を受賞 「アルビームシステム」

2015年10月1日

不二サッシは、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2015年度グッドデザイン賞」において、現在発売中の3商品が受賞しました。

◆ アルビームシステム

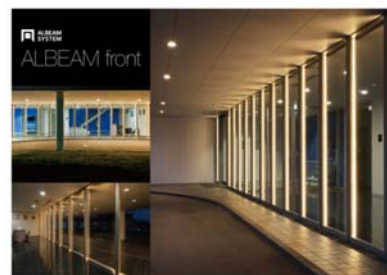
当社は独自開発の薄型LEDモジュールによる商品開発を進めています。

基幹事業であるアルミ建材に光の演出を加えた「アルビームシステム」は、ビル建築の外壁に使われるカーテンウォールや、ビルの低階層や高級車ディーラーをはじめとする店舗などに使われるショップフロントサッシに独自開発の薄型LEDモジュールを内蔵させた夜間の建築意匠に新たな考え方を提案する建材です。

今回の受賞では、部材を構成する反射板やLEDモジュールの納まりをデザインし、サッシ枠自体が灯具と一体化されている点、今まで造作工事や特注制作でしか対応できなかったアイデアを量産品として実現した点、ガラス面を積極的に照明装置として使うことで商業施設でのサインとしての演出照明のほか、住宅のエントランス部分などプライベートな空間での展開が期待できるとして評価されました。



アルビームカーテンウォール



アルビームフロント

12



2015年度グッドデザイン賞を受賞 アルミボディのペンダントライト「i-v(アイ・ヴィ)」／「エコ引違い雨戸スピーディ」

2015年10月1日

◆ ペンダントライト「i-v(アイ・ヴィ)」



アルミボディのペンダントライト「i-v(アイ・ヴィ)」は当社が独自に開発した薄型面発光LEDモジュールを長さ1790mm幅60mm厚さ8mmのアルミボディに組込んだ、「極限まで薄く、空間に溶け込み、光だけが浮遊する」という商品コンセプトを実現したスタイリッシュな照明器具です。

商品名の「i-v(アイ・ヴィ)」は、「可視visible／不可視invisible」を表しています。

◆ エコ引違い雨戸スピーディ



「エコ引違い雨戸スピーディ」、日よけルーバーと網戸を内蔵した引違いタイプの雨戸です。リフォーム、新築すべてのお住まいにお使いいただける製品です。雨戸をロックしたままでルーバーを開けられるので、時間帯や暮らしに合わせて日よけ、換気、採光を自在にコントロールできます。外からの視線をさえぎることができ、夜間時の換気やプライバシーの保護、防犯抑止効果にも役立ちます。今お使いの網戸を外して頂き、雨戸枠を網戸レールに固定し、雨戸をセットするだけなので、スピーディーに設置できます。

13

2014年度 建材作品コンテスト

2015年8月28日

不二サッシは、「2014年度建材作品コンテスト」の審査結果の発表並びに表彰式を開催しました。受賞作品は最優秀賞1点を含めた計10点となり、最優秀賞を受賞した「大翔株式会社社屋改修工事」は、当社建材特約店である株式会社山形チャレンジ工業にて、改修内容を開口部に留まらず、建物外観全体にわたり提案を行い完成した作品です。

「2014年度建材作品コンテスト」最優秀賞

物件名: 大翔株式会社 社屋改修工事
受賞者: 株式会社山形チャレンジ工業
設計施工: 大翔株式会社



CSR活動 千葉県市原市主催 緑のカーテンコンテストに参加

2015年8月

不二サッシ千葉工場(千葉県市原市)では地域の緑化と温暖化防止のため市主催の「緑のカーテンコンテスト」に積極的に参加しています。2012年から4年連続の入賞、2013年、2014年、2015年と3年連続で「最優秀賞」に輝いています。



14

CAMBUILD' 15 (2015年カンボジア国際建材展)に参加

2015年9月10日～12日

当社は文化シャッター(株)、及び三井物産メタルズ(株)と共同でカンボジア最大の国際建材展にサッシ製品を出展しました。当社はFNS70シリーズをベースに開発した(Smarteco 2)の「4枚建引き違い」「開き窓」「堅すべり出し窓」を出展しました。

ブースに来場された現地のデベロッパー、設計事務所、日系デベロッパー、ゼネコンの方々からは、当社製品の性能に大きな関心を持って頂きました。現地の高級コンドミニアムにはヨーロッパ製の樹脂サッシが多く使用されており、アルミサッシに対する来場者の評価は高く、特に引き違いサッシには最大寸法、金具のオプション、性能等多くの質問を頂きました。



展示会場正面



展示会場正面

Web サイトリニューアルのお知らせ

2015年10月5日

不二サッシWebサイトを10月5日より、リニューアルしました。今回のリニューアルでは、ご利用者の皆様がより見やすく、より快適に利用していただけるWebサイトを目指し、デザインを一新いたしました。企業Webサイトをとおしステークホルダーの皆様へ最新で最適な情報をわかりやすくお伝えするよう努力してまいります。



15

次世代マグネシウム合金を使った 医療機器開発を始動

2015年9月28日

不二サッシグループの不ニライトメタル(株)は、9月28日熊本県庁において、マグネシウム合金を使った医療部材の開発に取り組むべく、熊本県、国立大学法人熊本大学、株式会社日本医療機器技研との間で包括的連携協定に調印いたしました。

- 開発連携機関
熊本大学先進マグネシウム国際研究センター、
(株)日本医療機器技研

- 開発する医療機器
冠状動脈用ステント

当社グループは、これまで培ったマグネシウム合金の技術開発をもとにマグネシウム特性を活かした体にやさしい医療用マグネシウム合金の素材開発及び関連技術開発を開始します。



左から不ニライトメタル社長
中重、日本医療機器技研波
田野代表取締役、熊本県蒲
島知事、熊本大学原田学長、
益城町西村町長

KUMADAI 耐熱マグネシウム合金 「陸上長距離競技用車いす」の販売開始

2015年11月4日

不ニライトメタルが、アドバンフィット株式会社(熊本県八代市)、及び山本行文氏(熊本機能病院顧問)の3者で共同開発してきましたKUMADAI 耐熱マグネシウム合金を使用した「陸上長距離競技用車いす」が受注販売を開始しましたのでお知らせします。高強度、超軽量の特性を活かし、競技用車いすに採用されたものです。

アドバンフィット株式会社が販売元として受注販売いたします。

- ・販売元 アドバンフィット株式会社
- ・販売開始 2015年11月2日
- ・受注生産、オープン価格



車イス前輪部に負担が掛かることからフォーク部分にKUMADAI 耐熱マグネシウム合金を使用